

みんなの ひろば



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

主な内容

- 理事長巻頭ごあいさつ、経営理念・経営基本方針 2
- シリーズ 専門職紹介～その役割と業務内容～①
手話通訳士、プレーリーダー 3
- [特別企画] 公開!新・やさわの園 4、5
- シリーズ わたしたちの自慢①
障害者支援施設さくら、地域活動支援センターふらっと、
地域生活支援センターひこうせん 6
- 被災者等自立支援事業「絆」 7
- 新採用職員紹介 8

115号

平成25年7月1日
発行



☆たばしね学園☆

～子どもたちの人気者～

たばしね学園の人気者、職員お手製の“トトロ”です。
大きな体とふわふわな手触りは子どもたちのお気に入り。
長い間子どもたちに愛され続けてきた“トトロ”をリニューアルしました。
記念に“トトロ”を囲んでみんなで写真撮影。
自然に笑顔がこぼれてきます。

理事長 巻頭ごあいさつ

「枝・幹・根」

—人材育成と—

「学習する組織」を目指して—



理事長
藤原 健一

いて、業務経験や職制、ニーズに応じた研修を実施し、職員一人ひとりの能力開発や専門性の向上を図りたいと考えています。また、自己研鑽や業務進行の「自己管理」を促し、職員の主体的な能力開発を支援する「目標管理制度」にも力を入れています。

そして、これらの取組み等を通じて、事業団を「学習する組織」へと変えていきたいと考えています。「学習する組織」は、組織メンバーがビジョンを共有しながら、行動と学習を自発的に繰り返すことで、組織全体の能力が高まっていく組織です。従来の「管理する組織」に對置される問題発見・課題解決型のチーム組織です。

「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえぬんだなあ」(相田みつを)。私の好きな詩です。見えない努力の大切さ。事業団ですと、お客様の幸福(実)、お客様本位の質の高いサービス(花)、創意工夫(枝)、社会環境の変化や地域ニーズに即応する事業展開(幹)、経営とサービスを担う人材(根)と組織風土(土壌)でしょうか。美しい花を望むなら、見えない根を太く、土壌を豊かにしなければなりません。

当事業団では、本年度、事務局に新たに人材育成室を設置しました。経営基本方針第3「計画的に人材を育成し、学習する組織を目指す」の具体化を図り、根を太く、土壌を豊かにするためです。全職員が、継続的にマインドとスキルの成長を図ることができ「教育研修制度」の充実を図り、個別の人材育成計画に基づ

いて、業務経験や職制、ニーズに応じた研修を実施し、職員一人ひとりの能力開発や専門性の向上を図りたいと考えています。また、自己研鑽や業務進行の「自己管理」を促し、職員の主体的な能力開発を支援する「目標管理制度」にも力を入れています。

岩手県社会福祉事業団 経営理念・経営基本方針

「経営理念」

岩手県社会福祉事業団は、ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

「経営基本方針」(行動指針)

私たちは、

- 1 常に、お客様の立場に立って考え、人権の擁護とお客様本位の質の高いサービスの提供に努めるとともに、創意工夫し、社会環境の変化や地域ニーズに即応する新たな事業の展開に挑戦します。
- 2 幅広い関係者との連携・協働により、地域福祉を推進します。
幅広い関係者と連携・協働し、福祉サービスを必要とする人が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう、地域福祉の推進に努めます。
- 3 計画的に人材を育成し、学習する組織を目指します。
 - ・計画的な人材の育成に努め、法人経営と質の高いサービスの提供を担う「優しい心、高い専門性、強い責任感と自省心を持ち、向上発展する人材」の育成に努めます。
 - ・常に学習する態勢をとり、情報と衆知を集め、良い仕事をする「学習する組織」を目指します。
- 4 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化に向けた改革・改善を進めます。

シリーズ 専門職紹介

業務内容①

当事業団は、様々な種類の施設を運営し、専門職員を配置して紹介しています。それぞれの専門職員の役割や業務をシリーズで紹介していきます。



を児童厚生員、当館ではプレリーダーと呼んでいます。

プレリーダーは、遊びのネタを提供するだけの遊ばせ屋ではありません。子どもが興味・関心を持って自ら進んで行う活動である『遊び』を支援するため、子どもの発達の知識や活動展開の手法(技術)を活用してワークショップ(遊びのプログラム)を企画し、子どもの言葉や表情をくみ取りながら、遊びの空間を共創します。

また、遊

び場の企画運営も行います。当館の多様な遊びの中で人気がのびようかいスタンプラリーでは、知らない子どもたちがスタンプの在り処を教え合ったり、一緒に探したりする姿が見られます。遊びを単なる設備としてではなく、自然にコミュニケーションが生まれる環境を意図的に設定し、ストーリー仕立てのワクワクするようなヒントを考えることも私たちの仕事です。



ワークショップ「はらべこあおむし」子どもたちを絵本の世界に引き込みます。

『手話通訳士』の役割とは?

県立視聴覚障がい者情報センター

手話通訳の現場では、「手話通訳者」や「手話通訳士」が活躍しています。

主に都道府県の養成講座を修了し、手話通訳者全国統一試験に合格すると、「手話通訳者」として活動することができま

す。県内では、約63人の手話通訳者が登録されています。一方「手話通訳士」は、厚生労働省が認定する手話通訳技能認定試験に合格する必要があるため、より正確さとスピード、専門的な知識を求められ、裁判、政見放送、大学の講義等の場面で通訳を行います。手話通訳士は全国で約3千人、岩手県ではわずか17人しかいません。

当センター

には、3人の手話通訳士がおります。

日常の来館者への対応のほか、手話通訳者等養成講習の事業運営事務、手話体



講習会の打ち合わせの様子より良い講習会のために、毎回、入念な打ち合わせを行います。

今後、聴覚障がいの方に、必要な情報が伝えられるよう、センターの職員として、手話通訳士として研鑽を積んでいきたいと思っています。

情報支援員(手話通訳士) 赤坂 佳子

子どもの遊びの「リーダー」を

県立児童館の「子どもの森」

いわて子どもの森は、2003年5月5日に開館した大型児童館で、今年で10周年を迎えました。児童館は、子どもに健全な

遊びを提供して健康の増進及び情操を豊かにする、児童の健全育成に関する総合的な機能を有する児童福祉施設です。この児童館で、子どもの遊びを支援する専門職員

役員・評議員の紹介

※(新はこのたび新しく改選された理事、監事及び評議員です。)

理事及び監事

理事	藤原健一
理事	小林繁春
常務理事兼事務局長	石田豊
理事	菊池敏夫
理事	喜多正敏
理事	千田光久
理事	中野信男
理事	根子忠美
理事	細田重憲
理事	米田ハツエ
理事	青山良一郎
理事	千葉清夫
監事	浅沼康揮
監事	大久保文直
監事	大志田和彦
監事	大森紀代美
監事	小川博敬
監事	刈谷忠
監事	菊池理新
監事	朽木正彦
監事	久保田博
監事	熊谷嘉哉
監事	熊谷久
監事	熊谷嘉哉

評議員

評議員	児玉義輝
評議員	後藤賢弘
評議員	今野紀彦
評議員	斎藤昭彦
評議員	佐藤匡仁
評議員	柴田一美
評議員	高橋修
評議員	千葉寛
評議員	中上治
評議員	藤原誠一
評議員	熊谷誠一

顧問

千葉弘

※五十音順

シリーズ

わたしたちの自慢 vol.1

各事業所の「ここが自慢!!」と
いうことを取り上げ、
3回にわたって掲載します。

★音楽がっぱいの活動メニュー★

障害者支援施設さくら (一戸町)

入れの奥で眠っていました。昨年、数年振りに蘇りました。「難しいけれども、続けて弾けると嬉しい」「良い

障害者支援施設さくらの自慢は、音楽活動をたくさん取り入れている日中活動です。さくらを利用する皆さんは、歌や音楽が好きな方が多く、活動には大正琴やカラオケ、音楽体操等、音楽に関係するものを多く取り入れています。特に大正琴を使った活動、カラオケは人気があります。

大正琴は、十数年前の旧早池峰寮時代に取り組まれ、しばらくの間押し



☆クラブ活動：大正琴
真剣そのもの！
いつの日か、演奏会を？

音がして、楽しい」と、皆さん楽しみなながらも真剣に取り組んでいます。

カラオケでは、毎回時間を忘れ大盛り上がり。でも、紳士淑女のさくらの皆さんは、決してマイクの奪い合いなどはしません。順番を待ち、歌い終わった方には拍手を忘れず、時間いっぱい楽しんでいきます。

現在さくらは、日中活動事業所移行に向け取り組んでいる最中です。利用者の皆さん一人ひとりの個性を尊重し、安全・安心で楽しく張りのある生活が送れるよう、様々な活動メニューの提供に努めていきたいと思っています。

主任生活支援員 白畑由貴子



☆カラオケ
マイクを握り、
画面に向かって熱唱！

★作品展示スペース★

八幡平市地域活動支援センターふらっと (八幡平市)

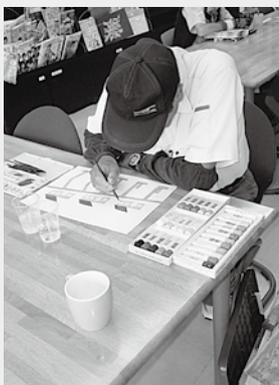


たくさんの作品と生産物で
展示スペースはにぎやかです。

八幡平市地域活動支援センター「ふらっと」の自慢は、この作品展示スペースです。

当センターを利用される方々には、芸術や創作に造詣の深い方が多く、絵画や織物、切り絵、ペーパークラフト etc. : 皆さんそれぞれ思い思いに作品を作り上げます。完成した作品は、近隣福祉施設の生産物等と一緒に展示スペースに飾り、道行く地域住民の方々等の眼を楽しませています。

共同生活事業所「八幡平」副所長 田中 茂樹



絵画制作に没頭する
利用者さんの様子です。

★豊富な活動メニュー★

地域生活支援センターひこうせん (岩手町)



桜は七部咲きでも笑顔は満開です！



できたてのドーナツは
おいしいな~!

生活支援員 鈴木 真実

岩手町にあります地域生活支援センター「ひこうせん」の自慢は、豊富な活動メニューです。中でも利用者の皆さんに好評なのが、調理実習と外出です。調理実習の一押しメニューは、ドーナツです。おいしいドーナツを皆で作って食べ、お腹も心も満足です。

5月の外出は、小岩井農場へ花見に行ってきました。今年はずっと天候が不安定だったためか、咲き具合はまいちでしたが、近くで花を見て、桜の木の下でジュースも飲み、皆さん楽しめた様子でした。

被災者等自立支援事業「絆」(宮古市)

東日本大震災から2年が経ち、被災地にも様々な変化が。今回は被災地で活動している事業所を紹介します。



仮設住宅

岩手県被災者等自立支援事業は平成23年3月11日に発生した、東日本大震災津波により、応急仮設住宅、みなし仮設住宅及び自宅等で支援が無ければ路上生活や孤立の恐れのある生活困難者に対して、自立支援の観点から総合相談、居場所の確保等を行い、地域社会で自立し安定した生活を営めるよう支援するものです。陸前高田市から洋野町までの沿岸被災地全域を対象として、平成23年10月から事業を開始しました。

ホームレス、仮設住宅内のトラブル、金銭的困窮等です。また、総合相談の受付は32件となり、おり、相談内訳は金銭的困窮、DV被害等となっています。また、緊急一時保護と並行して、稼働年齢にある方は、宮古公共職業安定所・ハローワークに同行し求職登録等の就労支援を行いました。この成果として4名の方が就職することができ、現在では自立した生活を送っています。

東日本大震災の発生から2年が経過しました。宮古市内の瓦礫も撤去され町並みは幾分落ち着いてきましたが、未だ復興は道半ばといったところです。自宅の自力再建が進むなか、将来の先行きが見えないままの方々からの相談が増加傾向にあります。

こうしたことから、被災地は新たな段階に入ってきていることを痛感しています。新たな段階に的確に対応するため、より丁寧な対応を心し、真摯に取り組むたいと考えています。

松山 庄 岩手県被災者等自立支援事業担当
地域福祉主査 中村 明



「絆」事務所内の様子

平成24年度 業務改善活動表彰式

4月26日、平成24年度業務改善活動表彰式を行い、入賞施設に対して、理事長から表彰状と報奨金が授与されました。

平成24年度の業務改善活動は、21施設で取り組まれ、39テーマの活動報告が提出されました。

最優秀賞を受賞した療育センター育成部の取り組みは、利用者数の増加により、入浴支援が時間通りに進まず、午後の活動の遅れに繋がっていたため、改善に向けて取り組んだものでした。結果として、遅れが改善されたばかりではなく、安全で効率的な支援ができるように、各種マニュアルの整備、設備の改善など、多岐に渡って取り組みが行われ、全般のサービス向上に繋がった活動となりました。

全体の取り組み結果を見ると、すぐに効果が表れた活動ばかりではありませんでしたが、意識啓発等につながる活動など、様々な工夫も見られました。この業務改善活動を一時的な取り組みとしてではなく、継続して取り組み、サービスの質の向上につなげていきたいと思えます。

事務局 主事 山崎 竜史

入賞施設

●最優秀賞

○療育センター育成部

「入浴日の午後の活動の充実を図る」

●優秀賞

○和光学園

「防災マニュアル整備」

○つづじ

食事環境イメチェン『ソフト&ウオーム』改善

●優良賞

○松山 庄

「栄養ケアマネジメントを生かしてBMI25以下を目指そう」

○視覚障がい者情報センター

「視覚障がい者・読書障がい者の施設利用拡大」



表彰式の様子
最優秀賞の表彰を受ける療育センター嶋田所長(中央)

平成25年度

新採用職員紹介



平成25年4月1日付けで採用となった
 新採用職員22人を紹介します。

**和光学園
 児童指導員**
 おがさわら たかし
小笠原 崇

**たばしね学園
 児童指導員**
 すず き たか ひろ
鈴木 貴大

**たばしね学園
 児童指導員**
 きく ち はる か
菊池 春香

**みたけ学園
 保育士**
 すが わら ゆき みつ
菅原 幸光

**好地荘
 生活指導員**
 やま がた ゆき こ
山形 雪子

**松風園
 生活支援員**
 なが さわ しゅん すけ
長澤 俊介

**中山の園
 管理センター
 主事**
 せ がわ まどか
瀬川 円

**りんどう
 生活支援員**
 し だ えみ こ
志田 笑子

**かたくり
 生活支援員**
 みか わ かつ のり
三河 勝則

**つつじ
 生活支援員**
 たか はし え り
高橋 恵理

**やさわの園
 生活支援員**
 い とう よし ひろ
伊藤 好宏

**療育センター
 生活支援員**
 おお た ゆ き
太駄 由貴

**療育センター
 看護師**
 さ とう こ
佐藤 くみ子

**療育センター
 看護師**
 さ さ き ち か こ
佐々木 千賀子

**療育センター
 看護師**
 た しろ ち ほ
田代 知穂

**療育センター
 看護師**
 さい とう ゆ き
齋藤 由希

**療育センター
 臨床心理士**
 ひがし の みち え
東野 美智恵

**療育センター
 相談支援員**
 お の だ ら し お み
小野寺 汐美

**療育センター
 臨床工学技士**
 くま がい み か こ
熊谷 美香子

**療育センター
 相談支援員兼
 言語聴覚士**
 み うら みち しげ
三浦 道繫

**療育センター
 歯科衛生士**
 まつ ざか なお え
松坂 直江

**視聴覚障がい者
 情報センター
 情報支援員**
 さい とう とも こ
齋藤 智子